

平成25年度 北海道小学校長会地区活性化事業【実践事例レポート】

- 1 報告地区 : 留萌管内
- 2 事例報告学校名 : 初山別村立豊岬小学校
- 3 報告者職・氏名 : 校長・小澤 真弓
- 4 キーワード : 行政・地域・家庭・学校が一体となった子ども支援

学校の概要

本校は、留萌管内の北部に位置し、国道232号線が南北を走り、天気の良い日には、利尻島や天売・焼尻島を眺めることができる。戸数159戸、人口426人の小さな集落であり、併置されていた中学校は平成20年度に閉校している。



主な産業は、漁業、農業、酪農業である。校区には、テレビドラマ「白線流し」の舞台となった初山別天文台や温泉宿泊施設「岬センター」、障害者支援施設「初山別学園」「風連別学園」がある。現在、児童数は13名。学年人数のバランスが悪く、1年生と3年生は一人ずつで、2年生は欠学である。地域に大事にされ、地域と共に歩んできた学校だが、残念ながら、今年度末をもって閉校が決まっており、初山別小学校に統合となる。

はじめに

本校は、初山別村の2校（初山別小学校・初山別中学校）の学校と共に、道の「小・中学校ジョイントアッププロジェクト」事業に参加している。今年度は3年次計画の最終年度で、まとめの年である。この事業は、村教委や地域との連携・協力のもと、校種間の連携による学習内容の確実な定着を図る学習指導等の在り方について、実践的な研究を行い、その成果の普及を通して、児童生徒の学力向上を図る取組である。本村または本校において、「通学合宿」「体力向上とウォーキングチャレンジ」「小・中学校相互の乗り入れ授業の充実」「巡回指導教員とのTT指導による習熟度指導の推進」「児童生徒の学力の向上」などの取組を行政・地域・家庭・学校が一体となり、子どもたちの豊かな成長を願い進めている。その中の一部を紹介させていただく。

具体的実践例

【学びの連続性をもたせる学習指導～学力を支える学習環境の整備】

- (1) 長期休業中の学習～サマースクール・ウインタースクールの取組

村内の小・中学生（希望者）が、村の施設に集まり、夏・冬それぞれ、6日間ずつ、学習に取り組む機会を設定している。主催は、村学力向上連携協議会で、主な指導者は教員と学生ボランティアである。



- (2) iPadを活用した授業づくり

本村では、5・6年全児童と中学生全員、全教員にiPadを配付している。授業の中で、教育機器の有効活用を図り、分かりやすい授業づくりを進める手だてや複式少人数指導の際に利用している。また、大学との連携により、アプリの開発についても進めている。



時計のアプリを使った授業
～大学との連携～

【基礎学力の定着を図る放課後学習の充実～全校一斉取組】



日課表を見直し、放課後の一斉タイムに時間を捻出し、学級間で取組に差がないように、日課表の中に放課後学習「岬タイム」の時間を位置付け全校児童が一斉に同じ教室に集まり学習を進めている。算数チャレンジタイムや漢字テストなど、日替わりで内容を変え、児童の学力向上に努めている。

【ウォーキングによる体力づくりの推進】

(1) 歩数計を活用した日々の取組

普段の学校生活の中で「歩くこと」を意識させ、どれだけ運動するか、登校時から下校時までの歩数を記録する。「目指せ100万歩！歩数計の旅」として、100万歩＝山の10合目を目指し、山登りに挑戦させるというイメージで取り組み、歩くことへの意欲化と習慣化を図っている。

(2) 体力づくりとの連動

マラソンや一輪車の練習においても、歩数計を付け、走った距離だけでなく歩数計でも記録し、運動習慣の改善を図っている。また、意欲を喚起させるため、廊下に「目指せ羽幌」という地図を掲示し、走った距離をシールで示す。



(3) 生活リズムチェックシートの活用による歩数の記録

取組期間を設定し、保護者の協力を得ながら、就寝までの歩数を生活リズムチェックシートに記録する。その期間は、特に進んで運動や遊びに取り組むように促している。

《平日》		《休日》		
項目	目標時間	項目	目標	
ねる時刻	22時10分	ねる時刻	〇時	
起きる時刻	7時00分	起きる時刻	8時	
学習の時間	1時間00分	学習の時間	1時間	
本を読む時間	30分	本を読む時間	〇分	
項目	月2日(CA)	月3日(CB)	月4日(CC)	月5日(DD)
起床時刻	7時15分	7時20分	7時25分	7時30分
起床時間	7時5分分	7時10分	7時15分	7時20分
学習の時間	1時間00分	1時間10分	1時間20分	1時間30分
学習の時間	1時間00分	1時間10分	1時間20分	1時間30分
本を読む時間	30分	30分	30分	30分
本を読む時間	30分	30分	30分	30分
その他(運動)	2時間00分	2時間00分	2時間00分	2時間00分
その他(運動)	2時間00分	2時間00分	2時間00分	2時間00分
朝ご飯	〇	〇	〇	〇
運動	〇	〇	〇	〇
お風呂	〇	〇	〇	〇
1日のがんばり	〇	〇	〇	〇

【保護者や地域と連携した豊かな心を育む活動～通学合宿を通して】



子どもたちが、家庭から離れ、生活宿泊体験を行いながら、学校へ通う「通学合宿」を行うことで、集団生活の中で規則正しい生活の定着や子どものコミュニケーション力を育む機会として地域や行政の協力により実施。

○1期目～9月24日～28日 ○2期目～11月5日～7日

下校後は、毎日日替わりの体育・知育プログラム活動を行い、夕食・入浴後は1時間程度学習の時間も設定し、その後の習慣化を図る。

【中学校教員の乗り入れ授業の推進】

中学校教員の専門性を生かした授業から、学力向上を図ることができると考え、巡回教員活用事業と合わせ本校では、国語と外国語の授業で、中学校教員の活用を進めている。

成果と課題

【成果】

- ・家庭や地域と連携・協力した学力向上の取組の工夫として、通学合宿や家庭学習のきまりの活用を積極的に保護者に発信できた。

【課題】

- ・体力づくりにおいては、季節に応じた運動の習慣化に向けた取組など、効果的な体力向上策を推進する必要がある。また、テレビやゲームの時間、睡眠時間・学習時間など多方面からの生活習慣の改善を図る必要がある。
- ・行政・地域・家庭・学校が一体となった「初山別村スクエア・プロジェクト」を更に進めるために、今以上に地域の協力を得る工夫が必要である。